

7部

ご案内



皆さん、レポート、スクーリング、科目修了試験などの学習活動には取り組まれておりますでしょうか。何から始めてよいかわからない方は、①『学習の手引き』p. 2～16をまず読む、②履修登録している科目からいずれかのスクーリング（オンデマンド・スクーリングを含む）を受講することをお奨めいたします。

他の方も在宅学習を進めレポートを提出いただくこと、とくにスクーリング受講済科目は講義の刺激を忘れないうちに、早めにレポート提出することをお奨めいたします。

1 // 10月進級生の方へ

●正科生（10月生）の学費入金者には下記(1)～(3)を送付しております

- (1) 履修登録用紙・宅配便宛名用紙・返送用封筒
- (2) 学生証有効期限シール・氏名バーコード
- (3) レポート用紙無料送付申込書（5年次生以上は無料送付なし）

※教科書は履修登録後（超過がある方は超過履修費納入後）10日以内に発送します。届きましたらご確認いただき、不足があった場合は到着後1週間以内にご連絡ください（以降のお申し出には対応できません）。

●正科生（10月生）で未入金など現在意思を明確にされていない方へ

学費納入依頼書は7/22に発送済です。進級を希望する場合は早めに納入をお願いいたします（納入期限は9/30）。休学や残念ながら退学を希望する場合は原則9/30までに届出用紙（『学習の手引き』or『With』108号巻末）をご提出ください。9/30を超えても受付はいたしますが、11月中に何らかの意思を表明していただかないと除籍になります。

●正科生（10月生）への履修状況票の送付

「履修状況票」を10/16に発送予定です。

●科目等履修生（10月生）で継続希望の方へ

「継続手続き書類」を8/3に発送済みです。継続希望の方は「履修希望科目登録用紙（OCR）」と「継続申込書」を10/10までにご返送ください。ご返送がない場合は、9/30にさかのぼって修了扱いとなります。

2 スクーリングに関する追加ご案内

●「科学的な見方・考え方」の日程変更（10/16～18）にともなう特例

申込締切を9/30に延長します。『With』109号巻末ハガキ（既に他科目で提出済みの場合はEmail, FAX等）にてお申込みください。

●「特講・社会福祉学18（生活困窮者自立支援の実際）」の日程決定（11/7・8）にともなう特例。

講義情報 p. 32, 講義概要 p. 35～37のとおり決定いたしました。

本科目を履修登録している方で、日程の都合などでスクーリングに参加できないために履修登録の取消を希望する場合は、9/30までに書面（Email, FAX, 郵便等。様式は任意）でお知らせください。

本科目を履修登録していない方で、スクーリングを受講したい方は、9/30までに履修登録をしてください。「履修希望登録用紙（OCR）」をお持ちの方はそれをご提出、お持ちでない方は①学籍番号・氏名、②「特講・社会福祉学18」履修登録希望の旨を記載、③1000円分の定額小為替を同封し、9/30必着でご郵送ください。

履修登録にあたって超過履修費が必要な場合は、スクーリング受講料の他に請求依頼書をお送りします。

なお、この科目の5・6コマめ(11/8 9:20~12:30)は、通信教育部学生をはじめ希望の方に無料で聴講可能とします。p. 37をご覧ください。

●「スポーツ(バーンゴルフ)」(9/11~13)延期にともなう再申込み

9/11に仙台市に発令された大雨特別警報により延期になったスクーリングを、11/14~16(土・日・月)に開講いたします(p. 29参照)。

9/11~13のスクーリング申込者には受講申込方法を個別連絡します。その他の方で本スクーリングの受講希望者は、10/8必着で巻末の「秋期スクーリングII」申込ハガキをご提出ください(履修登録済者のみ)。

●特講科目スクーリングの受講と取消について

『試験・スクーリング 情報ブック2015』p. 64をご参照ください(特講・社会福祉学5・6・7を除く)。

●スクーリング欠席者への受講料の返金について

『学習の手引き』8章II-3をご参照ください。

●講義中、携帯電話・PHSの電源はお切りください

●貴重品の管理には充分注意してください

●スクーリング受講者専用「別レポート」を上手にご利用ください

- ・実施科目 = 『学習の手引き』p. 8~9(またはp. 6~7) 参照。
- ・解答形式(会場スクーリング) = ①web(TFUオンデマンド)版で解答(解答締切:終了後約2週間), ②印刷版に解答し郵送(提出締切:受講後1ヶ月)。

※web (TFU オンデマンド) 版での解答を推奨しています (受付登録と評価登録は、解答締切後5日以内となります。印刷版よりも早く可否が入ります)。

3 特別支援学校教諭免許状 取得希望者へのお知らせ

8部 p. 72～75に重要なご案内がありますので、ご一読ください。

4 特別支援教育支援員基礎講座 修了証明取得希望者へのお知らせ

8部 p. 75に重要なご案内がありますので、ご一読ください。

5 産業カウンセラー受験資格 取得希望者へのお知らせ

産業カウンセラー受験資格について、平成27年度の卒業生の一部の方は再判定の結果、受験資格が認められました。しかし、毎年受験資格判定の見直しがあり、また判定の大きな要因となる通信教育部『レポート課題集』(シラバス)も今年度分から「在宅学習のポイント」掲載など大幅改訂しています。

そのため、平成28年度の受験資格判定以降、受験資格が得られるかどうかにつきましては、事前判定はできないため、産業カウンセラー協会の判断となり、本学ではお答えできかねます。大変申し訳ございませんが、取得希望の方はご了承いただいたうえで学習を継続してください。

6 試験結果など発送予定

夏期スクーリングⅢ（7/18～26開講）試験結果 8/6 発送済

夏期スクーリングⅣ（7/30～8/14開講）試験結果 9/14 発送済

※障害者(児)教育実習事前指導スクーリングの結果通知はありません

夏期スクーリングⅤ（8/16～9/6開講）試験結果 10/6 発送予定

幼保特例講座スクーリング試験結果 8/21 発送済

特講・福祉心理学8スクーリング試験結果 8/21 発送済

オンデマンド・スクーリング4～6 試験結果 8/28までに発送済

（合格者へは2カ月間の講義再配信中）

オンデマンド・スクーリング7～9 試験結果 9/30 発送予定

7・8月科目修了試験結果 8/21 発送済

7 教科書後送科目

●社会福祉法制

単位未修得者全員＝7/9 教科書①『社会福祉法講義ノート』 発送済

2014. 1/10～2015. 8/18履修登録者＝8/25教科書②『社会福祉法入門 第3版』 発送済

●保健と食と栄養

p. 78参照。未着の方はお申し出ください。

8 レポート添削の状況について

9/12現在、下記の科目のレポート添削が1カ月以上遅延しております。申し訳ございませんが、添削終了までしばらくお待ちください。

「情報処理Ⅰ」「健康科学」「社会福祉援助技術総論」「社会福祉援助技術論A・B」「社会調査の基礎」「社会福祉援助技術演習A・C」「精神保健福祉援助演習・演習A・演習B」「知的障害者の心理」「心理学研究法Ⅰ」「社会心理学」「生涯発達心理学」「教育心理学」「障害児の心理」「人格心理学」「臨床心理学」「心理療法」「相談支援」「初等教育課程の意義と編成」「幼児理解と保育相談」

その他の科目では1カ月以上遅延している科目はございません。8/7午前受付分までのレポートで他に未返却の科目がございましたら、通信教育部事務室にご連絡ください。

9 10月生奨学金のご案内

10月生で平成26年度以前の入学者を対象に、下記のとおり平成27年度「東北福祉大学通信教育部奨学金」の申請を受け付けます。希望者は、『学習の手引き』11章をよく読み、応募条件にご自身が該当するかどうかをご確認の上お申込みください。

申込締切 10/15必着

申込方法 『学習の手引き』巻末の様式17を郵送にて提出

選考結果通知 平成27年11月下旬（予定）

10 教員への質問時間のご案内

●社会福祉系科目

担当教員 佐藤博彦（助教） 小野芳秀（特任准教授）

相談場所 仙台駅東口キャンパス 通信教育部事務室（2階）

相談可能時間 9～3月は、希望日時をいくつかお知らせいただければ調整のうえ可能な日をお知らせいたします。

相談可能科目 社会福祉援助技術総論 高齢者福祉論 介護概論 保健医療サービス論 精神保健福祉の理論（精神保健福祉論Ⅰ） 精神保健福祉のサービス（精神保健福祉論Ⅱ） 精神保健福祉援助技術総論Ⅰ・Ⅱ（精神保健福祉援助技術総論）および実習相談

●福祉心理系科目

担当教員 山口奈緒美（講師）

相談場所 国見キャンパス 1号館5階（エレベータを降りて廊下を左側へ・左側にある山口研究室）

相談可能時間 9～3月の月～土曜日で、希望日時をいくつかお知らせいただければ調整のうえ可能な日をお知らせいたします。

相談可能科目 心理学概論, 心理学研究法Ⅰ, 環境心理学, 社会心理学, 福祉心理学のうちスクーリング受講済の科目

●申込方法 「教員への質問時間 予約申込」であることを明確にし、

- ①学籍番号, ②氏名, ③希望日・希望時間（3つはあげてください）,
- ④希望科目を画面〔メール（uc@tfu-mail.tfu.ac.jp）, F A X 022-233-2212, または郵送〕で希望日の1週間前までに到着するようにお申込みください。

●持ち物 筆記用具, 教科書・レポート課題集。可能でしたら、学習途中のレポートもお持ちください。

●申込・参加上の留意点

下記のことをご了解の上、お申込みをお願いいたします。

- (1) 科目の内容の相談にのるものです。個人的な問題や職場等の事例の相談にのることはできません。また、レポートの正解そのものを教えるものではありません。
- (2) 同一科目で複数の申込みがあった場合、他の希望者と一緒の参加となります。別の科目の質問者と同一時間になることもあります。
- (3) 必ず日時確定の連絡を受理してから参加してください。
- (4) スクーリングを受講するなど一定程度学習を進めた方が主たる対象です。レポートの一般的な書き方はホームページ上の「動画ガイダンス」(『学習の手引き』10章V-2)や10/3・11/7の仙台での「学習ガイダンス」をご利用ください。
- (5) 教員への質問は、『学習の手引き』6章記載の通り、メールや郵送でも可能です。

11 学習実態調査，レポート学習アンケートのご報告とお願い

『With』109号10部でお願いをした「学習実態調査」(調査A)、「レポート学習アンケート」(調査B)につきまして、早速にご協力をいただいた方には、ありがとうございます。

引き続き、未回答の方にはご協力をお願いいたします。とくに「学習実態調査」(調査A)は今年度10月新入生や科目等履修生を除き、全員必須となっています。

なお、現在のアンケート結果の公開状況は下記のとおりです。

(調査A)「学習実態調査」 9月中旬までの回答到着分を中間集計し、9/30までに公開いたします。

(調査B)「レポート学習 アンケート」 回答数が10名を超えた科目については「TFUオンデマンド」上の「mBook」画面で公開をしております(8/31時点で8/27までの回答をいただいた7科目のみが掲載されています)。

12 「社会福祉の基礎」「社会福祉援助技術演習B」レポート評価基準

「社会福祉の基礎」1単位め、「社会福祉援助技術演習B」2単位め(いずれも担当:三浦 剛先生)のレポートの評価基準について公表していくことになりました。

p. 60に掲載いたしました。この図がレポートの講評指導欄にも貼付され、評価されます。

『レポート課題集』掲載のアドバイスよりも詳しいものですので、これから提出する方はご覧いただいたの提出をお奨めいたします。

13 カリキュラムマップのホームページへの掲載のお知らせ

本学総合福祉学部 社会福祉学科・福祉心理学科として、卒業までに身につけてほしい力を「学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)」として『学習の手引き』2015・2014年版p. 41～、『レポート課題集D(特別支援編)』p. 135～に掲載しています。

このたび、その力が各科目の学習とどう関連しているのか、という表(「カリキュラムマップ」と呼びます)を作成し、通信教育部ホームページ「学科紹介」(右側にリンクボタンがあります)の中から閲覧できるようにいたしました。

14 学園祭のご案内

10/24(土)・25(日)の2日間、東北福祉大学の学園祭（国見祭）が「Shutter chance ～今、この瞬間～」のテーマのもとに行われます。野菜の無料配布や模擬店などのイベントがあります。お時間のある方はどうぞご来場ください。くわしくは、<http://15kunimifes.webcrow.jp/index.html>をご覧ください。または、国見祭実行委員会（電話022-233-3505）までお問い合わせください。

15 その他のご案内

- (1) 『With』110号 p. 66でご案内しましたとおり、8/20までに2単位学習の継続を希望された学生以外の「スポーツ（バレーボール）」「スポーツ（バーンゴルフ）」の単位数は1単位に変更させていただきました。『レポート課題集B（共通基礎・福祉専門編）2015』にもとづいて、1単位分のレポートを提出してください。
- (2) 『With』110号 p. 72でご案内しましたとおり、昨年までの在学生で図書館利用のため、新規格学生証の発行を希望する方の受け渡し場所は9/5以降、これから申込みをする方も含め、仙台駅東口キャンパス2階通信教育部事務室となっています。申込用紙は、本冊子巻末「規格変更にとまなう学生証再発行申請書」をご使用ください。
- (3) 11/3（火・祝）は事務室休業日とさせていただきます。また、12/2(水)も仙台駅東口キャンパス電気設備点検（停電）のため、事務室休業日となります。自習室も利用できません。

「社会福祉の基礎」 「社会福祉援助技術演習 B」 レポート評価基準

「社会福祉の基礎」 1 単位めレポート 講評の基準

「再提出」の場合

1. 題意が把握できていない
2. 誤字、脱字が多く、文章の意味が通らない表現である
3. その他(コメント欄を参照)

社会保障制度の意味がテキストなどの文献学習から把握できている(文献の内容をまとめている)
「可」

その上で、
・社会保障制度とソーシャルワークの関係を把握できている
あるいは、
・ソーシャルワークの原則やプロセス、援助技術の内容などについて学習されている(文献の内容をまとめている)
「良」

これらのステップを踏まえ、
・ソーシャルワークの生態学的視点、生活モデルなどの枠組みに関する学習がされている
「優」
・これらが文献のまとめではなく、自分のことばで説明できている
「秀」(非公式)

*「引用・出典明示」について A: 引用、註などの表示も適切 B: 表示されている C: 表示されていない、または不適切(「学習の手引き」を参照すること)
*「現実との関連づけ」について このレポートでは評点の対象としません(良い場合はコメント欄に記載)。

社会福祉援助技術演習 B 2 単位めレポート 講評の基準

「再提出」の場合

1. 題意が把握できていない
2. 誤字、脱字が多く、文章の意味が通らない表現である
3. その他(コメント欄を参照)

1. 社会資源と社会資源開発の定義、意味について、テキストなどの文献をまとめている
「可」レベル

1. をふまえた上で
2. 事例は用いられていないが、社会資源開発のプロセス(ケアマネジメントに位置づくもの、システム化など地域福祉に位置づくもの両面)をまとめ、留意点として述べているもの
3. 事例を用いてまとめられているが、それが「プロセス」を表すものではなく、「資源」を表している
どちらかであれば「良」レベル

2. をふまえた上で
社会資源開発のプロセス(ケアマネジメントに位置づくもの、システム化など地域福祉に位置づくもの両面)が、事例を用い、現実との関連づけを高めて述べられている
「優」
上記に加え、社会資源開発という技術が具体的にイメージでき、自分のことばで説明できている
「秀」(非公式)

*「引用・出典明示」について A: 引用、註などの表示も適切 B: 表示されている C: 表示されていない、または不適切(「学習の手引き」を参照すること)